

第26期 鳥取学 出前講座

好評につき木曜組と金曜組に分かれ、年間を通して毎月開催しています。

鳥取の歴史や人物・食などに“学”の味つけをし、がぶりと丸かじりしてもらう試みです。

期 間：第26期として、10月から3月まで6回、毎月1講座開催

日 時：原則として第3週の木曜日（午後6:00～8:00まで）と
翌金曜日（午前10:30～12:30）※同じ内容です

会 場：鳥取県関西本部交流室
（大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階）

主 催：大阪鳥取県人会、鳥取県関西本部

定 員：160名程度（木、金 各80名）（多数の場合は先着順）

申込先：鳥取県関西本部 〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル22階
TEL06-6341-3955 FAX06-6341-3972

受講料：6回通しで5,000円（県人会会員は3,000円）（受講料には最終の懇親会費を含む）
新たに県人会に入会されますと4,500円（県人会費半期分1,500円+受講料3,000円）です。
一回のみ1,000円の受講も可能です。

講 座 内 容	回	月 日	テ ー マ	講 師	
	1	10月15(木) 16日(金)	「八頭町地域おこし協力隊活動レポート」 ～地域に支えられて～	緒方 陽紀 氏	八頭町 地域おこし協力隊
	2	11月12(木) 13日(金)	「山陰海岸ジオパークの魅力と活用について」	安藤 和也 氏	鳥取県立博物館付属 山陰海岸学習館 専門員
	3	12月17(木) 18日(金)	「鳥取藩台場跡探訪」 ～幕末期における攘夷思想～	中原 斉 氏	鳥取県埋蔵文化財センター 所長
	4	1月21日(木)のみ	「これからの鳥取市のまちづくり」	深澤 義彦 氏	鳥取市長
	5	2月18(木) 19日(金)	「音楽で飯を食べるとは」 鳥取でバイオリンの聖地をめざす	岡野 壮人 氏	三朝バイオリン美術館 館長
	6	3月24(木) 25日(金)	「産・官・学連携から生まれた新技術」	津森 孝義 氏 西本 正敏 氏	株式会社大協組 環境建設事業部 営業部長 株式会社大協組 環境建設事業部 営業

※日程やテーマ、講師は都合により変更になる場合があります。

主 催：大阪鳥取県人会・鳥取県関西本部

きりとり線

申 込 書	ふりがな			〒	—	出身地		
	名 前	年齢 (歳)	住 所					
	連絡先	電話	—	FAX	—	希望日	木曜・金曜	

受講理由

いくつでも○印をつけてください

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 鳥取県の出身だから | 5 鳥取県人とふれ合いたい |
| 2 愛着を感じる | 6 毎回のテーマに引きつけられて |
| 3 鳥取をもっと知りたい | 7 その他 |
| 4 興味があるから | () |

「鳥取学出前講座」運営協力金 申込書

募金口数	(1口 5,000円)	金 額	
氏名・住所・電話			

鳥取学 出前講座

内容一覧

	月日	テーマ	講師 (敬称略)
第2期 平成15年度	7月	国宝 三徳山三仏寺投入堂の謎に迫る	光谷 拓実 奈文研究所
	8月	アジア梨浪漫「梨の来た道」	米山 寛一 果樹試験場長
	9月	鳥取の伝承行事	坂田 友宏 米子工業教授
	10月	写真に親しむ	沖 正 日写協会会員
	11月	三朝ラジウム温泉の不思議	谷崎 勝朗 岡山医大三朝
12月	転んだら起きればいい	鬼塚喜八郎 アシックス	
第3期 平成16年度(前期)	4月	豪商 淀屋家の真実	新山 道江 真説淀屋著者
	5月	かに殻? どないすんねん?	佐藤 公彦 県産業技術
	6月	ポツワナすいか探検記	足立 恵一 県農大校長
	7月	いま、蘇る麒麟獅子伝説	山本 雅明 キリンロジー
	8月	鳥取の民話とわらべ歌	酒井 董美 鳥短大学教授
9月	神の住む山、大山	森田 富雄 県西部県民局	
第4期 平成16年度(後期)	10月	とっとり おさかなカレンダー	古田 晋平 県栽培漁業
	11月	鳥取の川と文化	道上 正規 鳥取大学学長
	12月	フランスワインと北条ワイン	河原 達/山田 章弘 元ワイン館長/北条ワイン
	1月	水木しげると妖怪	足立 倫行 作家
	2月	幕末の鳥取藩の志士たち	坂本 敬司 県立博物館
第5期 平成17年度(前期)	3月	鳥取文学散歩	竹内 道夫 文芸史研究者
	4月	輝ける弥生王国ととっとり	佐古 和枝 関西外大教授
	5月	真相・南総里見八犬伝	中村 見自 大岳院
	6月	鳥取県民の開拓移住	伊藤 康晴 市歴史博物館
	7月	商工業の現状と展望	八村 輝夫 鳥商工会議所
第6期 平成17年度(後期)	8月	郷土部隊の悲劇	三森 政治 元121連隊
	9月	おいしさを求めて70年	大森 英夫 日清ハム会長
	10月	文久三年の因州藩	三上 茂文 京都鳥取県友
	11月	山陰における鉄道建設	宮内 儀良 国鉄工務局
	12月	ちょっとおもしろいカニ話	古田 晋平 県栽培漁業
第7期 平成18年度(前期)	1月	鳥取県産日本酒・焼酎の魅力	岡空 晴夫 千代むすび
	2月	秀吉の鳥取城攻め	錦織 勤 鳥大地域学部教授
	3月	砂丘ものがたり	赤木 三郎 鳥大名賞教授
	4月	三徳山1300年の歴史	米田 良中 三徳山三佛寺
	5月	砂丘らっきょうのおもしろ学	山田 準二 農業改良普及
第8期 平成18年度(後期)	6月	尾崎 翠と鳥取人脈	佐々木孝文 市歴史博物館
	7月	オンリーワンをめざして!	小谷 幸敏 県産業技術
	8月	初の女性議員	谷口 啓子 県立公文書館
	9月	鳥取のソウルフードとうふちくわ	植田 英樹 とうふちくわ
	10月	名和長年と後醍醐天皇	岡村 吉彦 県史編さん室
第9期 平成19年度(前期)	11月	私とボブスレー	小林 竜一 県体育協会
	12月	来て見て体験! 手作りの地酒	三宅 清一 (有) 益尾酒造
	1月	日野の文人たち	上田 京子 米子市図書館
	2月	抗菌・抗ウイルス素材の開発について	若林 一夫 用瀬電機株
	3月	和牛改良のふるさと鳥取	山下 正信 県畜産試験場
第10期 平成19年度(後期)	11月	片山知事の特別講座	
	4月	民生機器に使われているGPSについて	川口 喜旦 鳥取三洋電機
	5月	山陰初の20万都市鳥取市の発展戦略	竹内 功 鳥取市長
	6月	山中鹿之助と亀井茲矩	池田 正顕 幸盛寺住職
	7月	いわねなき虜囚を顧みて	蜂谷弥三郎 奇蹟の生還者
第11期 平成20年度(前期)	8月	香取村づくり60年のあゆみ	田尾 昭典 香取開拓組合
	9月	酒造りの基本は米作りから	中井 秀雄 中井酒造
	10月	地方から発信する映画	松本 薫 梨の花原作者
	11月	青谷上寺地遺跡の暮らしと景観	家塚 英詞 県埋蔵文化財
	12月	地ビールを楽しむ	田村源太郎 大山Gビール
第12期 平成20年度(後期)	1月	待たなしの環境問題	古澤 巖 鳥取環境大学
	2月	米子市の現状と課題	野坂 康夫 米子市長
	3月	前田寛治と菅橋彦	前田 明範 倉吉博物館
	4月	「遙かなまち倉吉」とこれからの街づくり	長谷川 稔 倉吉市長
	5月	須田剋太画伯が描いた「鹿野往來と今」	小林 清 鹿野まちづくり
第13期 平成21年度(前期)	6月	モンゴルの野生動物と環境研究	伊藤 健彦 鳥大乾燥地研
	7月	境港クロマグロの旨い話	権田 和志 名物料理会
	8月	星の魅力と鳥取	香西 洋樹 佐治天文台長
	9月	音楽熟成で人生が変わる	杉原弘一郎 音楽熟成協会
	10月	漂着、飛来する仏像	石田 敏紀 県立博物館
第14期 平成21年度(後期)	11月	砂の彫刻とまちおこし	茶園 勝彦 砂彫彫刻家
	12月	住民によって輝くまちづくり	小林 昌司 若桜町長
	1月	中海圏域における連携と共栄	中村 勝治 境港市長
	2月	ブラジル移住と鳥取県	小山富見男 鳥取敬愛高校
	3月	鳥取の森と水	徳田 昌嗣 奥大山ブナ森
第15期 平成22年度(前期)	4月	2009鳥取・因幡の祭典とは	瀧本 寛 実行委員長
	5月	戦後復興に燃えた国連大使澤田廉三の横顔	榎本 武利 岩美町長
	6月	豊かな産業と観光資源を活かしたまちづくり	田中 満雄/松本 清志 琴浦町長/アスリード
	7月	ほほ笑みのお酒	豊澤 恵美 西本酒造氏
	8月	山田薫資料が今に伝えるもの	梅林 智美 山陰歴史館
9月	鳥インフルエンザ研究の最前線	能勢 隆之 鳥取大学学長	

	月日	テーマ	講師 (敬称略)
第14期 平成21年度(後期)	10月	因幡国守大伴家持と万葉集最後の歌	中山 和之 因幡万葉歴史館
	11月	金持神社とおしどりの住むまち	景山 享弘 日野町長
	12月	氷温技術の活用	山根 昭彦 氷温協会
	1月	倉吉いなか町おこし	田村 幹夫 「赤瓦」代表
	2月	届けたい藍への想い	江口 俊恵 ちすぶる一
第15期 平成22年度(前期)	3月	邪馬台国山陰説	田中 文也 古史史研究者
	4月	未来へ繋ぐ関西と鳥取の絆(仮題)	平井 伸治 鳥取県知事
	5月	大山の恵みを活かしたまちづくり	森田 増範 大山町長
	6月	健康にはスポーツが一番!	小原 工 米子市観光協会
	7月	賀露神社と鳥取の歴史	岡村 吉明 賀露神社
第16期 平成22年度(後期)	8月	大阪で氷温米売上1への道	松井 洋一 県食営業課長
	9月	蟹からでアンチエイジング	南 三郎 鳥大農学部
	10月	ガイナール鳥取:Jリーグとホームタウン	塚野 真樹 S C鳥取代表
	11月	フルーツ王国 八頭町発信戦略	平木 誠 八頭町長
	12月	鳥取弁による笑いと癒し	石川 達之 シンガーソングライター
第17期 平成23年度(前期)	1月	医療と福祉の町 日南町	増原 聡 日南町長
	2月	鳥取藩士と坂本龍馬	来見田博基 県立博物館
	3月	山陰の可能性	奥田 英範 さんいんキラリ
	4月	イナバの白ウサギ	石田 敏紀 県立博物館
	5月	智頭町「疎開」保険と森林セラピー	寺谷誠一郎 智頭町長
第18期 平成23年度(後期)	6月	全国豊かな海づくり大会	平野 誠師 豊かな海づくり大会
	7月	小説「TATARU」	松本 薫/すざはらみき たらら顕彰会
	8月	おいしいごはんとはんどの友	下澤 理如 K・ラボ
	9月	鳥取県の教育	若原 道昭 龍谷大前学長
	6月	100回記念講演会 衆議院議員 石破 茂氏	
第19期 平成24年度(前期)	10月	伯州錦と弓浜餅	田中 博文 工房ゆみはま
	11月	とっとり環境イニシアティブ	法橋 誠 県生活環境部
	12月	織田 VS 毛利	岡村 吉彦 県公文書館
	1月	ふるさと紹介	吉田 秀光 三朝町長
	2月	鳥取県の地震対策について	西田 良平 放送大学鳥取
第20期 平成24年度(後期)	3月	山陰海岸ジオパークと鳥取砂丘	岡田 昭明 山陰海岸ジオパーク
	4月	古事記神話の舞台・山陰	多羅尾整治 作家
	5月	天女の降る里湯梨浜のまちづくり	宮脇 正道 湯梨浜町長
	6月	地域の絆 リズムにのせて	関原希代一 貝から節保存
	7月	オリジナル紙芝居による地域興し	松村 宏 紙芝居師
第21期 平成25年度(前期)	8月	エコ製品の販路開拓戦略	石田 康雄 株式会社社長
	9月	きのこの研究拠点 とっとり	福政 幸隆 きのこセンタ
	10月	マンガサミットと境港の観光振興	黒田 正己 市観光協会
	11月	吉田璋也と鳥取の民藝	木谷 清人 やまびこ館
	12月	南部町のまちづくり	坂本 昭文 南部町長
第22期 平成25年度(後期)	1月	田舎から世界へ	鷲見 浩生 丸京製菓社長
	2月	鳥取県の平家落人伝説	坂田 友宏 伯耆文化研究
	3月	三朝温泉の地酒を飲もう!	藤井 公典 藤井酒造代表
	4月	鳥取ご当地グルメのススム	植田 英樹 情報文化研究
	5月	田舎とコナンのまちづくり	松本 昭夫 北栄町長
第23期 平成26年度(前期)	6月	風でつくる高付加価値	山本 敬 株式会社
	7月	鳥取道全線開通後の山陰再発見	磯江 保 県観光連盟
	8月	天下の豪商「淀屋」と倉吉の「牧田淀屋」	蒲田 建三 淀屋研究会
	9月	地域の災害史から学ぶもの	横山 展宏 市歴史博物館
	10月	鳥取藩32万石	大川 泰広 県文化財課
第24期 平成26年度(後期)	11月	大山からはじまる山陰活性化	稲田二千武 ファミリーイナダ
	12月	鳴る弥生の国色(こくゆう)	濱田 竜彦 むきぼんだ史跡公園
	1月	参画と協働のむらづくり	石 操 日吉津村長
	2月	南極と地球環境	成瀬 廉二 元南極観測隊夏隊長
	3月	鳥取固有の酒米「強力(ごうりき)」の魅力	中川 盛雄 中川酒造蔵元
第25期 平成27年度(前期)	4月	鳥取の元氣 あれこれ	藤縄 匡伸 鳥取商工会議所
	5月	人形に想いを込めて	安部 朱美 人形作家
	6月	鳥取はなぜ食べものがおいしいか?	田中 正保 田中農場代表
	7月	地域資源を活かしたまちづくり	竹内 敏朗 江府町長
	8月	時速5キロの旅	吉田 正仁 冒険家
第26期 平成27年度(後期)	9月	弓ヶ浜の母なる川	安田 到 西部総合事務所
	10月	人生を変えた14万kmの轍(わだち)	加藤 彰 自転車野郎アキラ
	11月	光り輝く古代の伯耆(ほうぎ)	根鈴 輝雄 倉吉博物館長
	12月	神話絵画を通して日本文化を知る	小瀬 一紀 画家
	1月	特急スーパーはくとの旅と七つの風	岡村 俊作 智頭急行社長
第27期 平成28年度(前期)	2月	人口減少・高齢化社会へのアプローチ	森安 保 伯耆町長
	3月	日本を代表するフラワーパークを目指して	河崎 積 とっとり花回廊
	4月	さまよえる田中の世界一周	田中 正之/田中 愛子 旅行記者
	5月	燗酒のススム	福羅 隆元 福羅酒造代表
	6月	「つくる」と「つかう」をつむぐために	廣川 信也 廣川株式会社
第28期 平成28年度(後期)	7月	「くらしよ」のまちづくり	石田耕太郎 倉吉市長
	8月	鳥取県への学童集団疎開	石田 敏紀 倉吉西高教諭
	9月	童謡・唱歌のふるさと鳥取	平緒 佐和 わらべ館